

## 令和5年度DX実証事業の採択について

県では、DX事例を創出し、得られた知見を基に県内DXのさらなる推進を図るため、公募型「DX実証事業」を実施しています。

今年度の事業について、一般枠、先端枠に国内外から合わせて43件（構成116団体）の提案があり、この度採択案件を決定しましたのでお知らせいたします。

なお、先端枠については、web3等先端技術に特化した地域課題解決策の企画提案であり、都道府県では初めての取り組みです。

### 1 事業概要

#### ① web3等先端技術を活用したDX実証事業（先端枠）※新規

趣 旨：先端技術（※）を活用した地域課題解決の実証  
（※ブロックチェーン、NFT、メタバース）

上限額等：1,000万円 × 2件

提案期間：2023年3月23日（木）～ 5月8日（月）

#### ② DX実証事業（一般枠）

趣 旨：デジタルやデータを活用した地域課題解決の実証

上限額等：500万円 × 4件

提案期間：2023年3月23日（木）～ 5月8日（月）

### 2 採択案件 ※詳細は次ページをご覧ください

#### ■先端枠

- （1）ブロックチェーンを活用した『終活ノート』のデジタル化
- （2）NFT・メタバースを活用した球磨焼酎のブランド力向上

#### ■一般枠

- （1）デジタルコンテンツ・データを活用した人吉球磨での観光客のリピート率向上
- （2）3D防災マップ・ポータルサイトを活用した分かりやすい防災情報の提供
- （3）観光客の購買データ・行動データを活用した物産振興
- （4）ドローンや衛星データを活用したサツマイモの高品質化・高収量化・管理省力化

#### 【お問い合わせ先】

企画振興部デジタル戦略推進課

江口（内線32541）

廣岡（内線32543）

電話096-333-2469

## 【①先端枠】

### (1) ブロックチェーンを活用した『終活ノート』\*のデジタル化

※法的な「遺言書」とは異なるが、相続人等に対して、身の回りのこと、財産、知人連絡先など、死後に伝えたいことをまとめるもの。各市町村等でも配布が進んでいる。「終活ノート」のほか「エンディングノート」などの呼称もある。

①活用技術：ブロックチェーン

②提案企業：株式会社アイティフォー（IT：東京）

＜連携先＞株式会社 chaintope（ブロックチェーン：福岡）  
県内金融機関

③ 企画趣旨：

- 通常は紙媒体の「終活ノート」にブロックチェーン技術を活用し、データ改ざんが困難な電子終活ノートを開発・運用する取組み。
- デジタル技術を活用し、死亡診断のタイミングで、指定された相続人に、電子終活ノートの開封権限が自動で付与される仕組みも組み込む。
- モニター（100人程度）の方々に、電子終活ノートを利用してもらい、死亡等の模擬シナリオに沿って動作させることで、ブロックチェーン技術による情報の秘匿性の確保、確実な伝達、ペーパーレス化等について実証する。

### (2) NFT・メタバース を活用した球磨焼酎のブランド力向上

①活用技術：NFT、メタバース

②提案企業：株式会社みずほ銀行（金融機関：東京）

＜連携先＞株式会社 Startale Labs Japan（NFT：東京）  
NEW WORLD LAB（メタバース：シンガポール）

③企画趣旨：

- 球磨焼酎に関心があるモニター（500人程度）へ「NFT（デジタル証明書）①」を交付し、この方々が、球磨焼酎に関する情報発信等を行った場合に、PR活動履歴を証明する「NFT②」を交付。
- この2つのNFTを保有する人へ球磨焼酎の交換券、試飲会への参加券等の「特典」を付与する仕組みを構築し、球磨焼酎の販売促進、ブランド化につなげる。
- 「メタバース」を活用したイベントも開催し、焼酎に関心の薄い若年層など、新たなファンの獲得・関係人口創出も視野に入れて実証を行う。

#### 【参考：先端技術の補足説明】

- ◆ ブロックチェーン：暗号技術を用いて取引履歴を1本の鎖のようにつなげることで、データの改ざんを事実上不可能とする技術。
- ◆ NFT（エヌエフティー）：Non Fungible Token（非代替性トークン）。ブロックチェーン技術を活用したデジタル証明書。容易にコピーが可能なデジタルデータを、本物であることを証明することが可能。
- ◆ メタバース：インターネット上の仮想空間。デジタルツインは現実のデータを仮想世界でシミュレーションするものであり、メタバースはアバター（分身）を使い、不特定多数の人物との交流・体験を可能とするもの。

## 【②一般枠】

### （１） デジタルコンテンツ・データを活用した人吉球磨での観光客のリピート率向上

【分野：観光】

- ①提案企業：株式会社 chaintope（IT：福岡）、株式会社サトー（自動認識システム：東京）、  
一般社団法人 人吉球磨観光地域づくり協議会（観光：県内）
- ②企画趣旨：
- ・ 人吉球磨地域の旅館、観光地等に設置したQRコードを、観光客がスマートフォンで読み取ることで、ガイドサービスや観光地の限定情報を受ける仕組みを構築。
  - ・ この際、観光客の周遊データが蓄積され、このデータを活用することで、旅行者の興味関心や行動の分析を可能とする。
  - ・ 観光客の利便性向上により旅行者のリピート率向上を図るとともに、周遊データの活用・分析により魅力的な観光地づくりにもつなげる。

### （２） 3D防災マップ・ポータルサイトを活用した分かりやすい防災情報の提供

【分野：防災】

- ①提案企業：株式会社 WorldLink & Company（ドローン：京都）、  
株式会社エンジンス（IT：県内）、玉名市（自治体：県内）
- ②企画趣旨：
- ・ 菊池川流域をモデルに、国、県、市町村等が有する災害・避難情報等からなる「3D防災マップ」を開発・運用する取組み。
  - ・ 地形等が理解しやすい「3D防災マップ」を、PC・スマホで住民と共有することで、災害前の防災意識の向上、災害時のいのちを守るための迅速な行動につなげる。

### （３） 観光客の購買データ・行動データを活用した物産振興

【分野：物産】

- ①提案企業：東芝データ株式会社（IT：東京）、株式会社MARUKU（IT：県内）  
西日本電信電話株式会社（電気通信：県内）、  
株式会社くまもとDMC（観光：県内）
- ②企画趣旨：
- ・ 銀座熊本館や県内観光拠点において、専用LINEやWi-Fiリアルセンサー等を用いて観光客や消費者の購買データ、行動データ等を幅広く収集する取組み。
  - ・ データを分析することにより、商品開発やイベント実施におけるデータ活用のモデルを構築する。

### （４） ドローンや衛星データを活用したサツマイモの高品質化・高収量化・管理省力化

【分野：農業】

- ①提案企業：株式会社アグリライト研究所（農業研究：県内）、  
株式会社なかせ農園（農業：県内）
- ②企画趣旨：
- ・ ドローンや衛星からの画像データを用いて、サツマイモの圃場の状態等を把握できる新たな手法を開発する取組み。
  - ・ 上記技術を開発・活用することで、「適切な定植数（植え付け数）の把握」、「病害・虫害の早期発見・見回り時間の削減」、「収穫適期の把握」等を実現し、農産物の高品質化・高収量化・管理省力化につなげる。